

栗 駒 山 平 成 18 年（2006 年）年報

○ 火山活動評価：静穏な状態

地震活動、熱活動は低調な状態で、火山活動は静穏に経過しました。

○ 火山情報

火山情報の発表はありませんでした。

○ 概況

・地震活動（表 1、図 1）

平成 18 年度の現地観測の一環として、宮城県栗原市栗駒（栗駒山山頂の南東 3.5km）に地震計を設置し 10 月 12 日から観測を行っていますが、火山性地震は少ない状態が続いています。

・熱活動（図 2 ～ 図 4）

10 月 20 日に実施した現地観測の結果、前回（1992 年 8 月 20 日）と比較して、噴気、地熱地帯の状況に特段の異常はなく、落ち着いた状態でした。

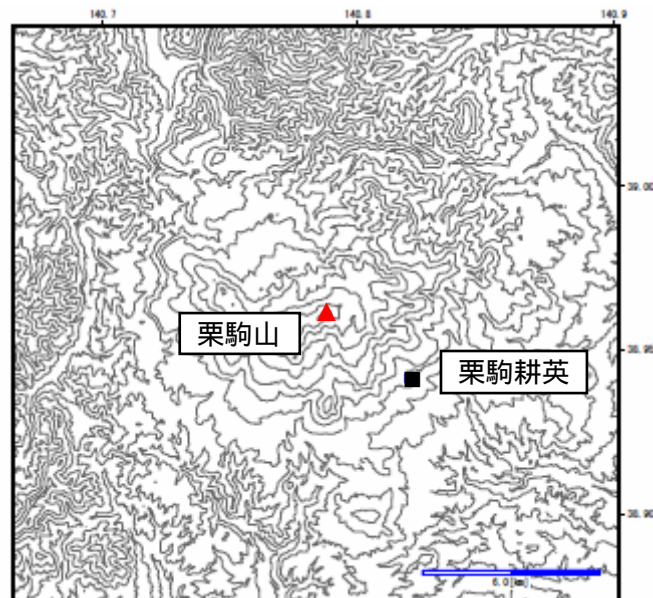


図 1 栗駒山観測点配置図

■：地震計

表 1 栗駒山 2006 年火山性地震・微動の月別回数（基準点：図 1 の栗駒耕英）

栗駒耕英は、10 月 12 日から観測を開始しました。

	10月	11月	12月
地震回数	2	1	0
微動回数	0	0	0

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「2 万 5 千分の 1 地形図（新庄）」を複製しています。（承認番号 平 17 総使、第 550 号）

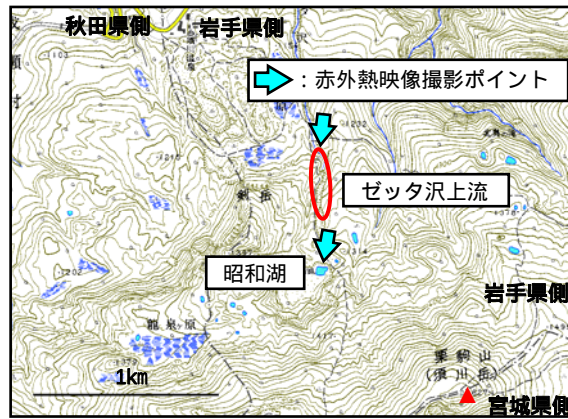


図2 栗駒山の地形図と赤外熱映像撮影ポイント

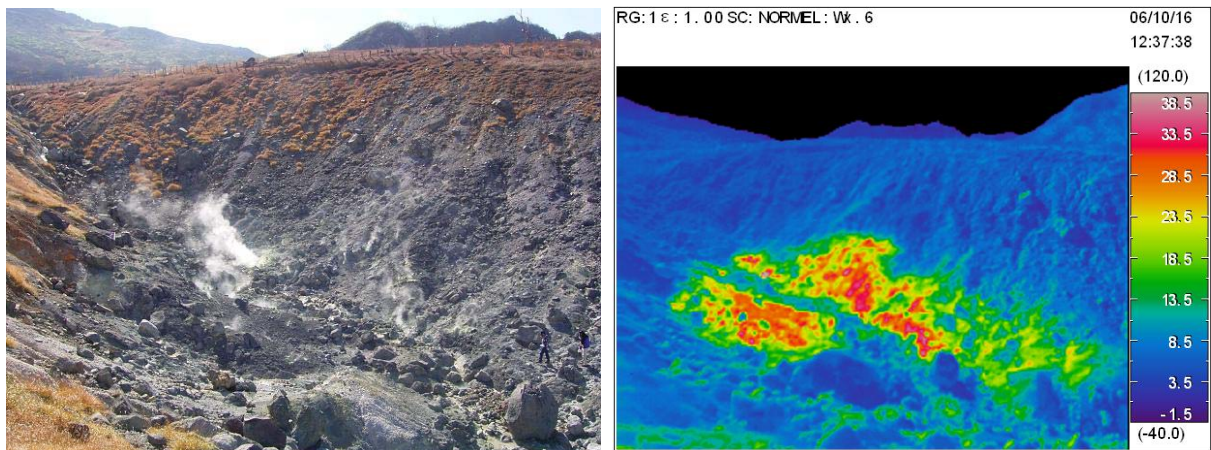


図3 ゼッタ沢上流の可視画像（左）と赤外熱映像（右）

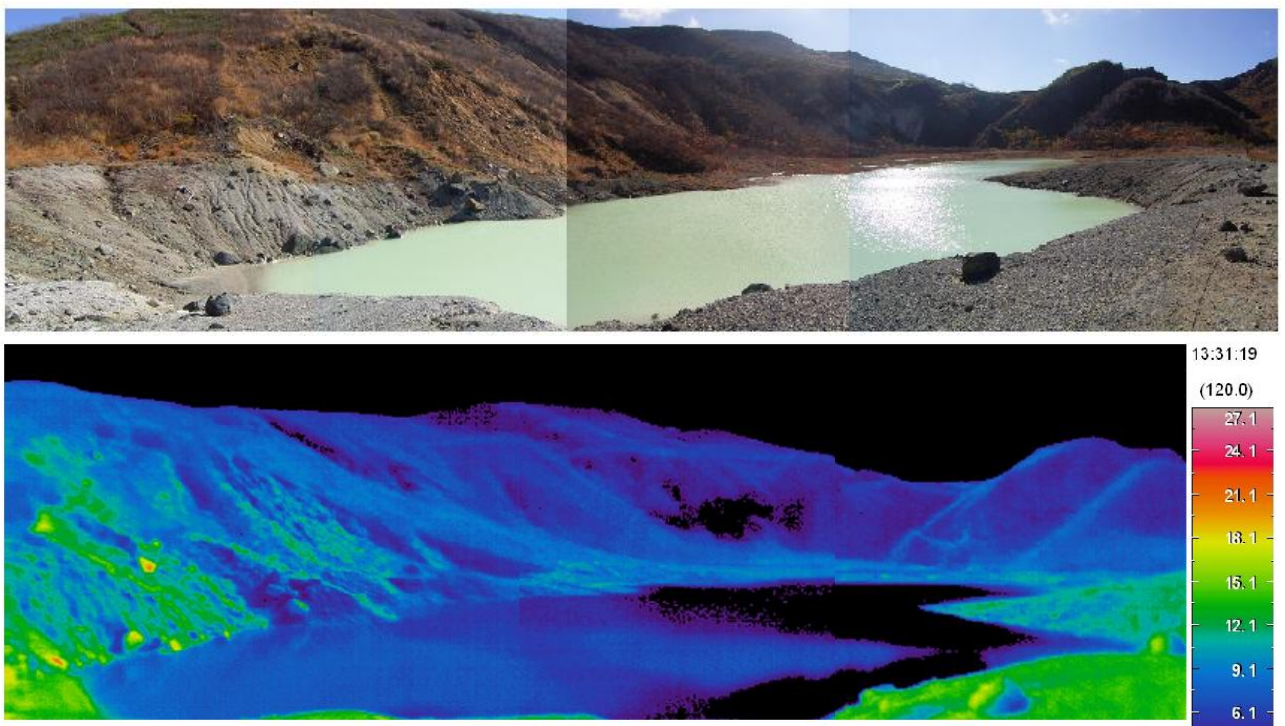


図4 昭和湖の可視画像（上）と赤外熱映像（下）

10月20日に栗駒山の現地観測を実施しました。その結果、前回（1992年8月20日）と比較して、噴気、地熱地帯の状況に特段の異常はなく、落ち着いた状態にあることを確認しました。

ガスの噴出により立ち入り禁止地帯であるゼッタ沢上流でも、噴気や地熱の異常は見られず、前回と変わらない状態でした。

赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する機器で、熱源から離れた場所で測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。